

# 第4章

## 聖火リレー



2021.7.10 トーチキスでつながれた東京2020オリンピック聖火



2021.8.20 ランタンに納められた東京2020パラリンピック聖火「多摩市の火」

1964年の東京オリンピックでは、聖火リレーは多摩市内を通過しませんでした。東京2020大会で57年ぶりに再び日本にやってきたオリンピック聖火は、全国47都道府県を巡り、東京都内は全62市区町村を走行することになっていました。

しかし、東京都聖火リレー実行委員会は、まん延防止等重点措置の適用状況等を踏まえ、7月9日から7月16日までに実施を予定していた東京2020オリンピック聖火リレーの公道走行中止を発表し、またしても多摩市に聖火リレーがやってくることはありませんでした。自転車競技ロードレースとは違い、テストイベントもなかったオリンピック聖火リレーのルートは、幻に終わりました。

パラリンピック聖火リレーのルートに多摩市内は入りませんでしたが、多摩市独自の 방법으로採火されたパラリンピック聖火「多摩市の火」は、東京都集火式と全国集火式を経て「東京2020パラリンピック聖火」になりました。「多摩市の火」の採火式は、東京2020大会において、市民が直接大会に関わることでできた数少ないイベントのひとつになりました。

# 東京2020オリンピック聖火リレー・東京2020パラリンピック聖火リレーを巡る動き

国、東京都、組織委員会等の動き	年月日	多摩市の取組等
東京2020オリンピック聖火リレーコンセプト発表「Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう。」 オリンピック聖火リレーの重要方針決定、東京都のリレー日数は15日を設定	2018 4.10	
東京2020パラリンピック聖火リレーコンセプト発表「Share Your Light / あなたは、きっと、誰かの光だ。」	12.21	
オリンピック聖火リレーエンブレム、トーチ、公式アンバサダー発表	2019 3.20	
パラリンピック聖火リレー概要、エンブレム、トーチ発表	3.25	
オリンピック聖火リレーのルート概要を公表 東京都では、大会の直前、開会式当日までの15日間にわたって全62市区町村で実施	6.1	多摩市の走行日は都内2日目の7月11日(土)の第1番目と決定
オリンピック聖火ランナー募集	7.1-8.31	
パラリンピック聖火リレー採火・出立実施場所、聖火リレールート概要等発表	11.22	多摩市はリレールートに入らず
パラリンピック聖火ランナー募集	12.16-翌年2.15	
オリンピック聖火リレーの詳細なルート公表	12.17	出発地:多摩市役所、到着地:聖蹟桜ヶ丘駅前、多摩市役所(本庁舎東側広場)にて出発式を実施
パラリンピック聖火リレー各都道府県における聖火フェスティバル詳細を発表 東京都の採火は8月21日実施、実施市区町村及び会場・採火方法などは(調整中)との記載	2020 2.6	
	2.20-3.31	多摩市聖火リレーサポーター募集
組織委がIOC理事会に「オリンピック聖火リレー実施における新型コロナウイルス感染症対策の基本的な考え方」を報告	3.4	
ギリシャのオリμπピアで太陽光からオリンピック聖火が採火される 宮城県航空自衛隊松島基地に聖火が到着	3.12	
	3.20	
IOCと組織委が東京2020大会の延期を発表 3月26日から予定していたオリンピック聖火リレーはスタートせず、大会延期日程に合わせて新たな日程を決める、現在決定しているランナーが優先的に走行できるよう検討すると発表	3.24	
延期後の東京2020大会の日程を公表	3.30	
東京都を含む7都道府県に緊急事態宣言①を発令	4.7	
緊急事態宣言①の対象を全国に拡大	4.16	
緊急事態宣言①を残る首都圏1都3県と北海道で解除、およそ1ヶ月半ぶりに全国で解除	5.25	
延期後のオリンピック聖火リレーの実施概要を発表 従前のスケジュールの1日前倒し、リレーを実施する市区町村は原則として変更せず、従前の走行ルート、セレブレーション会場を維持する予定	9.28	
延期後のパラリンピック聖火リレーの実施概要を発表 従前のスケジュールの1日前倒し(曜日は同じ)、リレーを実施する市区町村は原則として変更しない		
	11.19-20	多摩市役所本庁舎1階ロビーでオリンピック・パラリンピック聖火リレートーチの展示
延期後のオリンピック聖火リレーのルート概要を公表	12.15	多摩市の走行日は都内2日目の7月10日(土)の第1番目と決定
東京都を含む1都3県に緊急事態宣言②を発令	2021 1.8	
	2.20-3.31	多摩市聖火リレーサポーター追加募集
組織委員会、東京都、国、IOC、IPCの五者協議開催 海外から来日する観客の観戦は3月25日までに、会場における観客数の上限は4月中に判断	3.3	
1都3県の緊急事態宣言②を解除	3.21	
福島県のJヴァイレッジナショナルトレーニングセンターをグランドスタート	3.25	
大会延期後のパラリンピック聖火リレーの聖火フェスティバル詳細、通過市区町村、セレブレーション会場公表	3.29	多摩市では8月20日に多摩センター三角広場で採火式を実施、聖火ビジットは実施を希望する区市区町村において実施とされている
東京23区および6市(八王子市、立川市、武蔵野市、府中市、調布市、町田市)にまん延防止等重点措置を適用(4月12日~5月11日)	4.12	
東京都を含む4都道府県に緊急事態宣言③を発令	4.25	
オリンピック聖火リレーに伴う交通規制の実施内容公表	5.25	
パラリンピック聖火リレー詳細ルート公表	5.28	
	5.30-31	オリンピック聖火リレー地域説明会開催
	6.5-18	出発式観覧希望者募集
	6.19-20	聖火リレーサポーター活動説明会開催
緊急事態宣言③を9都道府県で解除 うち東京都を含む7都道府県はまん延防止等重点措置へ移行(6月21日~7月11日)	6.20	
東京都聖火リレー実行委員会は7月9日~16日までに実施を予定していたオリンピック聖火リレーの実施形態変更を発表	6.22	サポートランナー事前説明会開催
	6.29	多摩市も出発式及び公道走行を中止し、八王子市富士森公園で点火セレモニーを実施することとなった
	7.5-26	パラリンピック聖火「多摩市の火」採火式参加者募集
	7.10	八王子市の富士森公園で点火セレモニー実施
	7.12	
	7.14-31	市内8館の児童館でロウソク作り講座開催
	7.23	
	8.2	
	8.8	
	8.20	多摩市役所本庁舎東側広場にてパラリンピック聖火「多摩市の火」採火式開催 市内4ヶ所で「東京都の火」の聖火ビジットを実施
	8.24	
	9.5	
東京都を含む19都道府県の緊急事態宣言④と8県のまん延防止等重点措置が解除 東京都では新たにリバウンド防止措置期間を設定(10月1日~24日)	9.30	

**【東京都における緊急事態宣言及びまん延防止措置の期間一覧】**

第1回緊急事態宣言	2020.4.7 - 5.25
第2回緊急事態宣言	2021.1.8 - 3.21
まん延防止等重点措置	2021.4.12 - 4.24
第3回緊急事態宣言	2021.4.25 - 6.20
まん延防止等重点措置	2021.6.21 - 7.11
第4回緊急事態宣言	2021.7.12 - 9.30

 緊急事態宣言期間  
 まん延防止等重点措置期間

# 東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニー

〈2021.7.10〉

2021(令和3)年7月10日に富士森公園(八王子市)で、公道での聖火リレーに代わる東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニーが開催され、多摩市内を走行予定だった20名の聖火ランナーのうち15名が参加し、聖火を繋ぎました。

当日は晴天に恵まれ、阿部市長の挨拶のあと、藤原マサノリ市議会議員から第1走者のトーチに聖火が点火され、ランナーの皆さんが笑顔でトーチキスを行いました。



トーチキス終了後のフォトセッション



オフィシャルスポンサーによる出展ブース



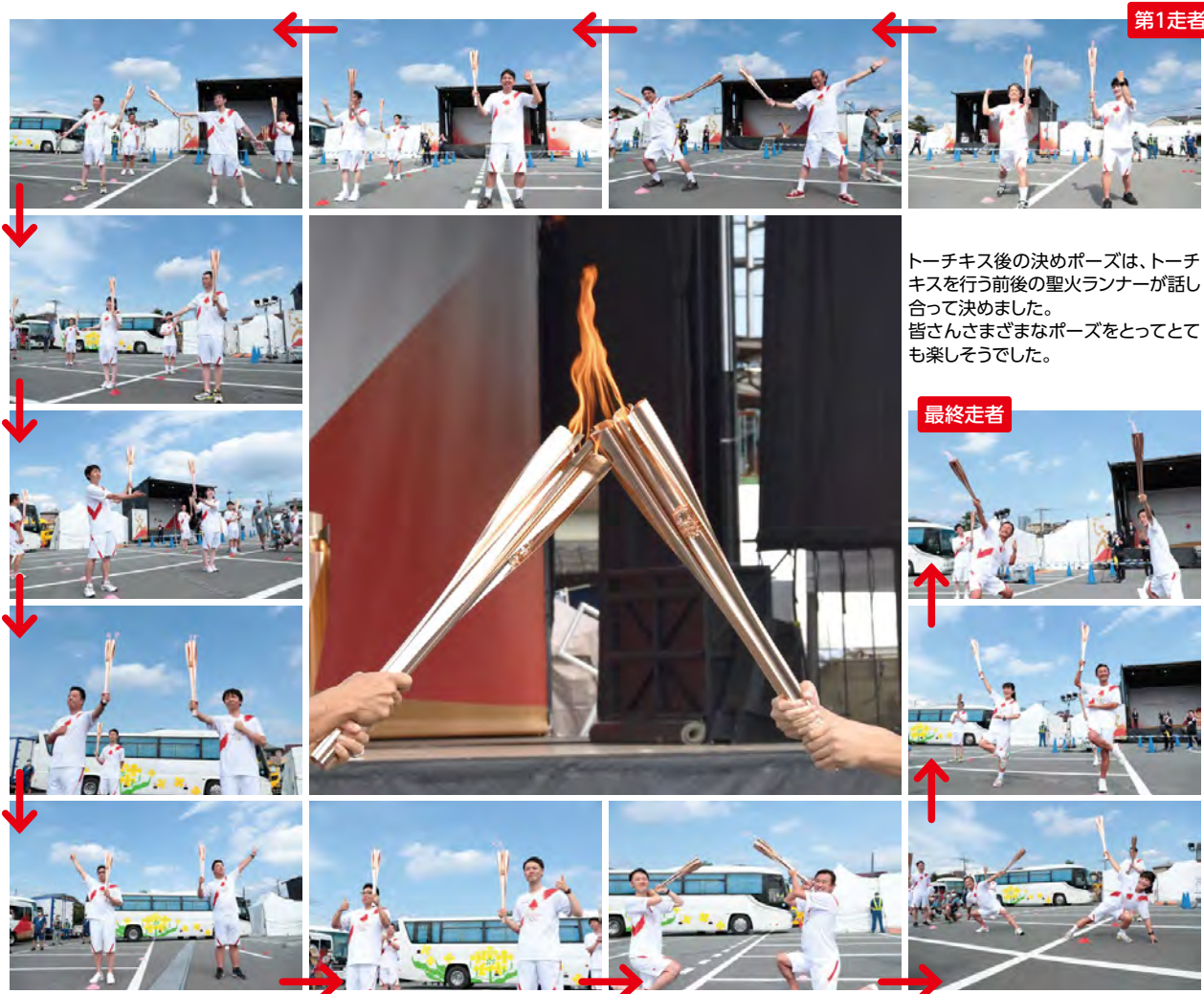
聖火リレーグッズの販売ブース



藤原議長より第一走者へ聖火を点火



阿部市長挨拶の様子



第1走者

トーチキス後の決めポーズは、トーチキスを行う前後の聖火ランナーが話し合って決めました。皆さんさまざまなポーズをとってとても楽しそうでした。

最終走者

### ■ 落合中学校吹奏楽部による演奏

多摩市は、7月10日の聖火リレーのスタート自治体でしたので、出発式を開催することになっていました。出発式会場では落合中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏を予定していましたが、出発式の中止に伴い演奏の機会がなくなってしまいました。

しかし、東京都聖火リレー実行委員会がインターネットでライブストリーミング配信を行う際に映像を組み込んで放映できるよう調整した結果、映像で出演していただくことができました。映像の時間の都合上、出発式で予定していた楽曲のうち1曲しか演奏してもらうことはできませんでしたが、とても素晴らしい演奏でした。

演奏曲:Happiness / 嵐



# 多摩市内の聖火リレールート-公道走行と出発式の中止-

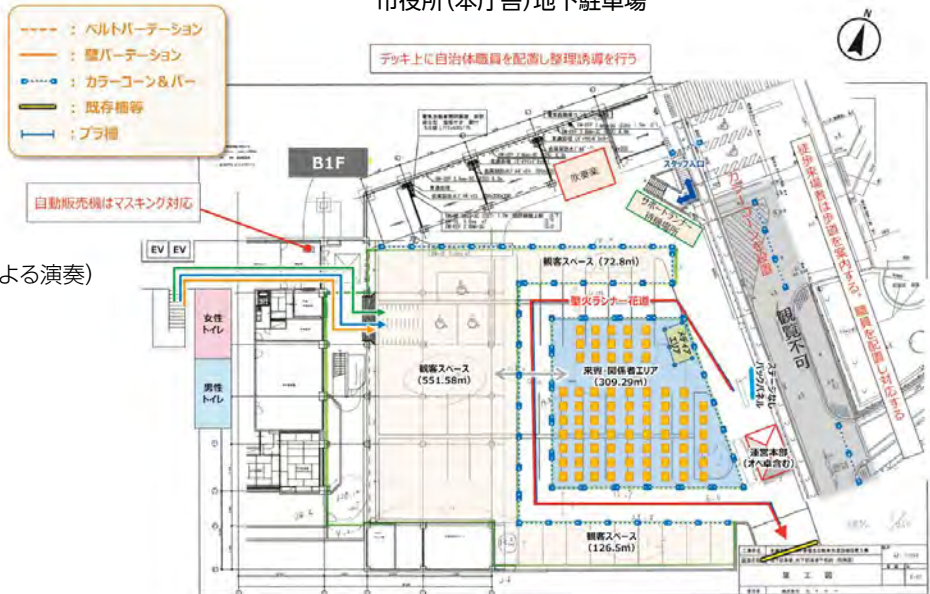
東京都に発出されていた3度目の緊急事態宣言は6月20日で解除されましたが、東京都を含む7都道府県はまん延防止等重点措置へ移行され、その期間は多摩市の聖火リレーが予定されていた7月10日を含む7月11日までとなりました。2021(令和3)年6月29日、東京都聖火リレー実行委員会は、まん延防止等重点措置の適用状況等を踏まえ、7月9日から7月16日までに実施を予定していた東京2020オリンピック聖火リレーの実施形態を変更することを発表しました。

7月10日に予定されていた多摩市でのオリンピック聖火リレーも、出発式及び公道での走行は中止となり、同日の最終区間(八王子市)のセレブレーション会場である富士森公園で点火セレモニーを実施することになりました。



## 出発式会場レイアウト

市役所(本庁舎)地下駐車場



## 出発式スケジュール

### ■ウェルカムプログラム

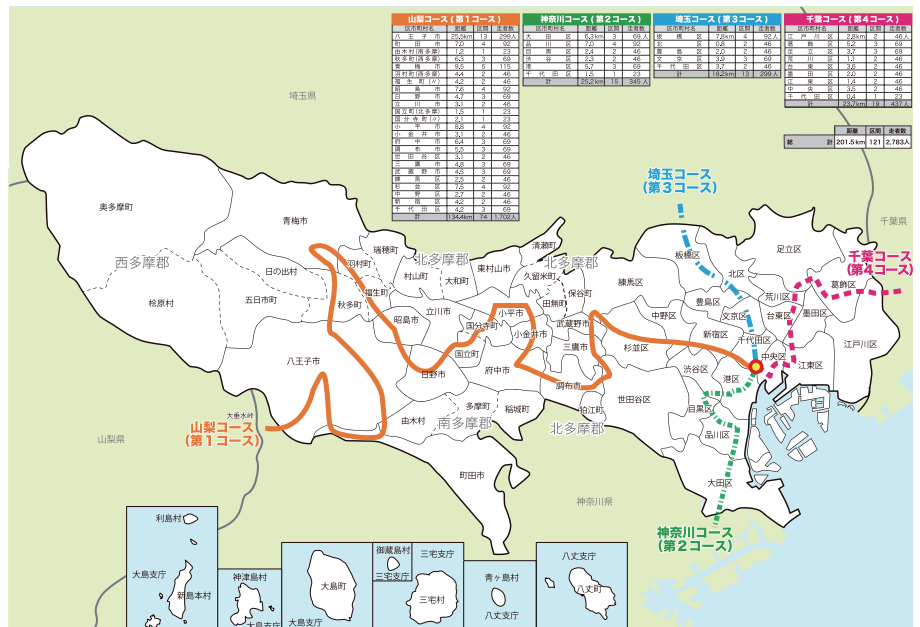
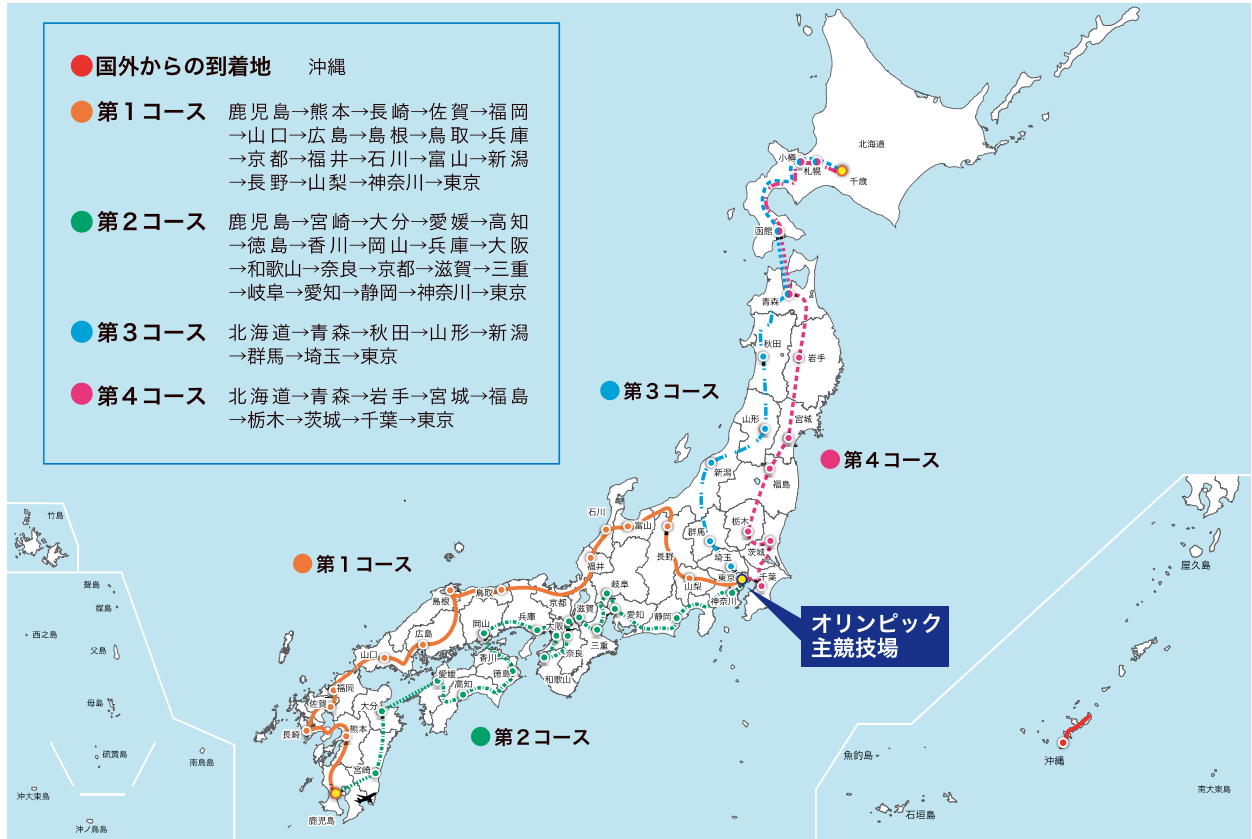
- 09:30 ウェルカムプログラム  
(落合中学校吹奏楽部による演奏)
- 09:50 転換・インターバル

### ■出発セレモニー

- 09:55 オープニング
- 09:56 多摩市長挨拶
- 09:59 聖火ランナー登場
- 10:01 聖火入場～点火準備
- 10:02 トーチへの点火
- 10:03 フォトセッション
- 10:05 出発

# 1964年東京オリンピック聖火リレーと 東京2020オリンピック聖火リレー

## 1964年東京オリンピック聖火リレー



(画像提供:東京都立中央図書館)

ギリシャで採火された聖火は、アジア各国を経て、沖縄に到着しました。その後、鹿児島、宮崎、北海道(青森で分岐)へと運ばれ、四つのルートで東京を目指しました。

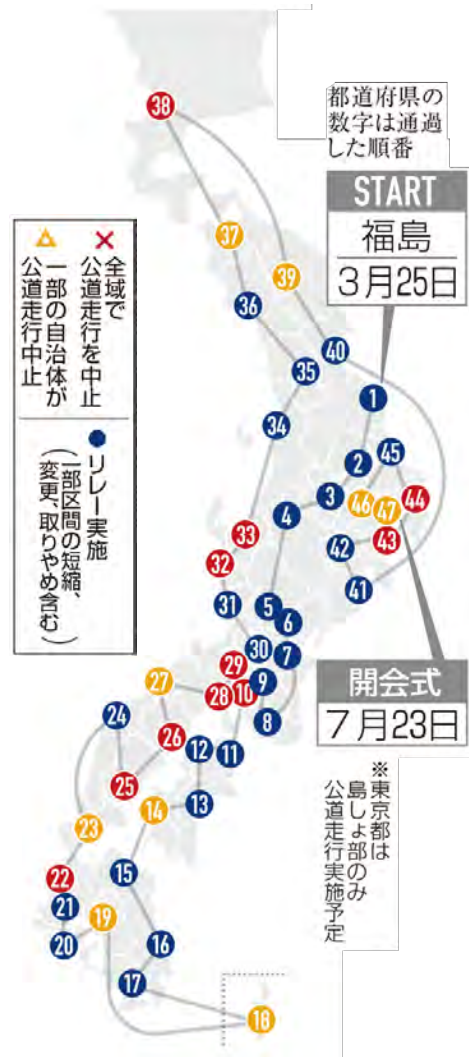
地上のリレーが行われた距離は6,755km、参加したランナーは10万713人にのぼりました。約2か月かけてリレーされた聖火は東京都庁に集められ、開会式前日に皇居前で集火式を行った後、10月10日、最終聖火リレーで国立霞ヶ丘競技場に向かいました。(出典:オリンピック・パラリンピック学習読本 小学校編)

なお、1964年東京オリンピック聖火リレーでは多摩市内は通過しませんでした。

## 2021年東京2020オリンピック聖火リレー

ギリシャの古代オリンピアの太陽光から採火された聖火は、2020(令和2)年3月20日にギリシャから宮城県航空自衛隊松島基地に到着しました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、大会が延期されたため、聖火リレーもスタートせず、聖火はそのまま大切に保管され、1年の月日を経て、2021(令和3)年3月25日、福島県のJヴィレッジをスタート。7月23日の開会式で聖火台に灯されるまで、121日間をかけて約1万人の聖火ランナーがリレーにより、全国47都道府県を巡りました。

東京都内は、開会式当日までの15日間にわたって全62市区町村を巡り、多摩市では2021年7月10日に市内を走行する予定でした。



1	福島	●	24	鳥取	●
2	栃木	●	25	根島	×
3	群馬	●	26	岡山	×
4	長野	●	27	鳥取	△
5	岐阜	●	28	兵庫	×
6	愛知	●	29	京都	×
7	三重	●	30	滋賀	×
8	和歌山	●	31	福井	●
9	奈良	●	32	石川	×
10	大阪	×	33	富山	×
11	徳島	●	34	新潟	●
12	香川	●	35	山形	●
13	高知	●	36	秋田	●
14	愛媛	△	37	青森	△
15	大分	●	38	北海道	×
16	宮崎	●	39	岩手	△
17	鹿児島	●	40	宮城	●
18	沖縄	△	41	静岡	●
19	熊本	△	42	山梨	●
20	長崎	●	43	神奈川	×
21	佐賀	●	44	千葉	×
22	福岡	×	45	茨城	●
23	山口	△	46	埼玉	△
			47	東京	△

※2021年7月9日時点の図です。提供:共同通信社

### 東京都の当初予定されていた聖火リレー

※島しょ部は実施

1	9(金)	世田谷区⇒狛江市⇒稲城市⇒町田市
2	10(土)	多摩市⇒日野市⇒昭島市⇒八王子市
3	11(日)	檜原村⇒奥多摩町⇒日の出町⇒青梅市⇒瑞穂町
4	12(月)	羽村市⇒あきる野市⇒福生市⇒武蔵村山市⇒立川市
5	13(火)	国立市⇒国分寺市⇒小平市⇒東大和市⇒東村山市
6	14(水)	清瀬市⇒東久留米市⇒西東京市⇒小金井市⇒府中市
7	15(木)	調布市⇒[島しょ部へ]三宅村⇒神津島村⇒新島村(新島・式根島)⇒利島村⇒大島町
8	16(金)	御蔵島村⇒八丈町⇒青ヶ島村⇒小笠原村(父島・母島)⇒[島しょ部から]三鷹市⇒武蔵野市
9	17(土)	杉並区⇒中野区⇒練馬区
10	18(日)	豊島区⇒板橋区⇒北区⇒足立区
11	19(月)	葛飾区⇒江戸川区⇒墨田区⇒荒川区
12	20(火)	台東区⇒文京区⇒千代田区⇒中央区
13	21(水)	江東区⇒大田区⇒品川区
14	22(木)	目黒区⇒渋谷区⇒港区
15	23(金)	新宿区

提供:共同通信社

### サポートランナー

聖火ランナーとは別に、地域から聖火リレーを盛り上げる走者が、サポートランナーです。公道以外の場所で聖火ランナーの後方を走行することができるようになっていました。

多摩市では、年齢制限により聖火ランナーに応募することができない市内小学校から1名ずつ計19名をサポートランナーとして決定し出発式会場で第一走者の後ろを走行予定でしたが、出発式の中止により走行は叶いませんでした。

### 聖火リレーサポーター

聖火リレー当日、コース沿道の資機材の設置・撤去のサポート、コース沿道周辺の観衆・雑踏の整理、出発式会場における運営補助や案内等を担ってもらおうボランティア「多摩市聖火リレーサポーター」を広く募集しました。一般公募枠で126名、大学連携枠で133名、計259名の方にご応募いただきました。

出発式及び公道での走行の中止に伴い、応募して下さった皆さんに実際に活動いただくことはできませんでした。

# 東京2020パラリンピック聖火「多摩市の火」採火式

〈2021.8.20〉



東京2020パラリンピック聖火「多摩市の火」

パラリンピック聖火は、ギリシャで太陽光から採火され、開催国まで運ばれてくるオリンピック聖火とは異なり、開催国各地でそれぞれの方法で採火された炎とパラリンピック発祥の地であるイギリスのストーク・マンデビルで採火された炎が一つになって誕生します。

多摩市では、2021(令和3)年8月20日に多摩市役所本庁舎東側広場で東京2020パラリンピック聖火「多摩市の火」採火式を開催しました。代表児童がまいぎり式火起こし器で起こした火を参加した市民全員がそれぞれ持ち寄った思い思いの口ウソクでつなぎ、共生社会への想いがこもった火を再び統合して「多摩市の火」を採火しました。

採火式の開催場所は、多くの市民が観覧できるように多摩センター三角広場を予定していましたが、緊急事態宣言期間中の開催となったため、通勤者等不特定多数の方による密集を回避でき、より広い市役所本庁舎東側

広場へ変更しました。

当日は早朝よりスポーツ推進委員の皆さんに会場設営、イベント運営補助のご協力をいただきました。



採火式会場の様子





火起こし

子どもたちがパラリンピックに関わる機会を創出するため、児童館とタイアップして、採火式前の夏休み期間を中心に児童館で「ろうソク作り講座」を開催しました。講座に参加した子どもたちは自分だけのオリジナルのろうソクを作り、採火式に参加しました。

火起こしに挑戦した代表児童は、児童館職員に教わりながらまいぎり式火起こし器での火起こしの練習を積み、当日は見事、あっという間に火を起こしました。



参加者全員でろうソクリレー



参加者全員のろうソクリレーを経た火の統合



## パラリンピック聖火「東京都の火」の展示 〈2021.8.20〉



東京都集火式

8月20日の朝多摩市内で採火された「多摩市の火」は、11時40分から東京都庁都民広場で開催された東京都集火式において都内全62市区町村の火と統合され、「東京2020パラリンピック聖火 東京都の火」となりました。

多摩市に持ち帰った「東京都の火」は、この日の午後、20時に全国集火式で「東京2020パラリンピック聖火」が誕生するまでのひと時、市内4か所で展示しました。



【聖蹟桜ヶ丘駅エリア】京王聖蹟桜ヶ丘SC A館スカイプラザ



【永山駅エリア】小田急永山駅構内



【多摩センター駅エリア】京王多摩センター駅構内



【唐木田駅エリア】温水プール(レストランみなみの食堂そばの交流スペース)

### 2つのパラリンピック聖火リレー

都内では、東京都集火式が行われた後、「東京都の火」による聖火リレーと、全国集火式の翌8月21日からパラリンピック開会式が開催される24日までの4日間、全国集火式で誕生した「東京2020パラリンピック聖火」による聖火リレーが実施される予定でした。

都内に発出されていた緊急事態宣言が8月31日まで延長されたことに伴い、聖火リレーの公道走行は中止になり、代わりに各日の最終区間のセレブレーション会場で点火セレモニーを実施することになりました。

なお、多摩市は、東京2020パラリンピック聖火リレーの走行ルートに入っていませんでした。



全国集火式



全国集火式では、イギリスのストーク・マンデビルと全国47都道府県で採火された火がひとつになり、「東京2020パラリンピック聖火」が誕生しました。